

# TOURISM SCOPE

2017. Vol. **39**  
ISSN 1739-5089

The Official Magazine of the Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities



Huacheng Avenue, Guangzhou, China



Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities  
**The 8<sup>th</sup> General Assembly**

18 Oct - 21 Oct 2017, Tongyeong City, Republic of Korea



Tourism Promotion Organization  
for Asia Pacific Cities



THE LAND OF SEA  
TONGYEONG



Ministry of Culture, Sports  
and Tourism



한국관광공사  
KOREA TOURISM ORGANIZATION

# Contents

---



## 04 Special

珠江に沿って広州都市散策  
A Stroll in Guangzhou



## 10 K-CLIP

TPO会員都市で楽しむ韓国文化  
K-CLIP 2017



## 16 Concept Travel

都会のオアシス  
世界の公園6

## 20 TPO People

全州の挑戦  
韓国を超えてアジア文化の中枢に



## 22 TPO News

TPO ニュース

## 24 Festival Calendar

TPO 都市会員の祭りカレンダー

---

## Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities

アジア太平洋都市観光振興機構(以下、TPO)は、アジア・太平洋地域の都市のネットワーク化を図り、観光産業を発展させる目的で創設された国際観光機構です。2017年3月現在、81の都市と、観光産業関連協会、研究機関、観光地のマーケティング機関(DMO)など、40の民間団体が会員登録しており、観光産業の活性化に向けて、会員都市間の観光産業に関する情報交換や、観光商品開発、共同マーケティング事業、観光分野の教育及び人材育成事業などの活動を展開しながら、アジア太平洋の都市観光開発に取り組んでいます。



# 珠江に沿って広州都市散策 A Stroll in Guangzhou

海のシルクロード上にあることから、2000年余り前から、大きな富を享受してきた貿易都市、広州。空港を出ると、まず目に飛び込んでくるのは、超高層ビルの数々。先端都市の威容を誇る建物に驚くばかりだが、都心を横切るように流れる珠江に沿って、視線を別に移すと、かつてのイギリスの租界地だった沙面島、明の時代へ時間旅行できる小洲村など、まるで時がとまったかのような、素朴であたたかい記憶を抱かせる町がある。そんなふたつの顔も持つ広州をのんびり歩いた。

構成 シム・ミナ 写真 オ・チュンガン



## 広州旅行情報

位置 華南地方最大の貿易都市で、珠江デルタの北端に位置している 面積 7434km<sup>2</sup> 人口 1300万人(2015年) 気候 多湿な亜熱帯モンスーン気候で、冬は短く夏は長い。春は湿度が高く多雨。年平均気温は22.8℃、年平均降水量は1736ミリ 概要 広東省の省都で、行政区域は8つの区と4つの市からなる。2000年の長い歴史を持つ都市で、北東部と中部は山地と丘陵地帯、西南部は平原地帯になっている。漢の時に外国貿易を開始、明の終わり、清の初めには交易をヨーロッパ各国にまで拡大し、中国最大の貿易港として栄えた。1921年に市に昇格した。



広州ランドマーク9

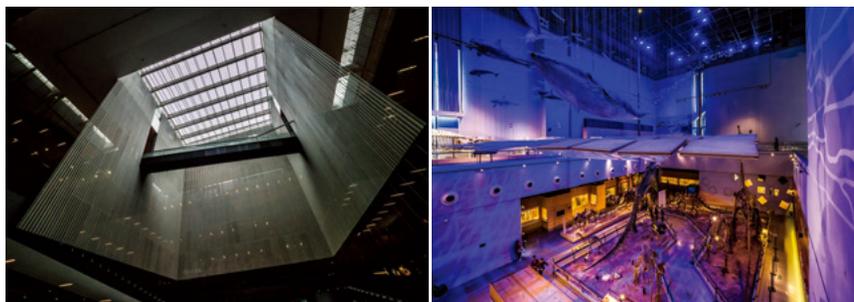
# Landmark of Guangzhou

北京、上海とともに、中国を代表する  
3大都市のひとつ。都心を横切る珠江を中心に、  
さまざまな広州の主要スポットが集まっている。

## 広州の新観光スポット 広東省博物館 Guangdong Museum

2004年5月に国際公募展で優勝したロココデザイン建築(Rocco Design Architects)が設計した建物で、珠江新城の4大ランドマークのひとつに数えられている。正六面体のおもちゃのキューブのようにも、よくできたレゴブロックのようにも見える一風変わった外観が印象的だ。博物館といえども厳肅な雰囲気はなく、ロビーは天井まで吹き抜けになっており、開放的。1959年にオープンし、2010年に新築、現在は国家1級博物館に指定されている。広さは2万平方メートルにおよび、歴史文化館、自然史展示館、芸術館、一般展示館の4セクションに分かれており、海上貿易都市広州の長い歴史を、時代ごとに展示。展示物数は16万6000点以上にもおよぶ。中でも、歴史文化館では、年代別に貿易船の模型を展示しているほか、中国の主な輸出品だったシルク、お茶、陶磁器なども陳列している。

住所 2 Zhujiang E Rd, Tianhe Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng 電話 +86-20-3804-6886 開館時間 09:00~17:00、月曜日休み 入場料無料(ガイド10.00、14.30) ホームページ [www.gdmuseum.com](http://www.gdmuseum.com)



## ザハ・ハディッドの傑作 広州オペラハウス Guangzhou Opera House

韓国のDDP(東大門デザインプラザ)を設計した世界的な建築家ザハ・ハディッド(Zaha Hadid)が設計した建物として知られる。13億8000万中国元が投入され、2005年に着工、2010年に完工した。珠江にある2つの石からインスピレーションを受けたという非定型建築物は、まるで都心の真ん中に不時着した宇宙船のようだ。

ストーンパネルと、ガラスで覆われた鋼鉄フレームがよく調和した外観は、神秘的な雰囲気が漂う。広州オペラハウスは、北京国立公演芸術センター、上海大劇場と共に中国3大劇場のひとつとされており、公演も内容もハイレベル。最新設備を備えた1800席規模の劇場と400席規模の講堂の2つで構成されている。

住所 1 Zhujiang W Rd, Tianhe Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng 電話 +86-20-3839-2888 開館時間 10:00~16:30、月曜日休館 ホームページ [www.gzdyj.org](http://www.gzdyj.org)



## 広州の卓越したシンボル 広州タワー Canton Tower

広州市内のどこからでも、空に向かってそびえ立つタワーが見える。2010年10月にオープンした「広州タワー」だ。東京スカイツリーに続き、世界で二番目に高い自立式電波塔で、国際名は「キャンタタワー(Canton Tower)」という。ねじったような独特の外観が印象的な広州のランドマーク的存在であるこのタワーは、女性のくびれたウエストラインに似ていることから「スリムウエスト(Slim Waist)」、中国語で「シャオマニャオ(小蛮腰)」との愛称で親しまれている。塔高450メートル、送信塔まで含めると600メートルにもものぼる。107階には展望台があり、広州市を360度眺望できることから、広州を訪れたら必ず行きたい観光スポットに数えられている。タワー頂上の111階から乗車できる観覧車「バブルトラム」もぜひ乗車したい。高さ448.8メートルから眺める広州の景色は絶景そのもの。観覧車は7000個のLED照明で装飾されているため、夜の姿が美しい。

住所 222 Yuejiang W Rd, Haizhu Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng 電話 +86-20-8933-8222 営業時間 09:30~22:30 価格 展望台大人150元、子ども75元、展望台+バブルトラム大人298元、子ども149元 ホームページ [www.cantontower.com](http://www.cantontower.com)



### フランス人が建てたゴシック様式の大聖堂

#### 石室聖心大聖堂 Shishi Catholic Church

広州は、1843年の開港以来、一度も閉鎖されたことがない中国を代表する港町。海のシルクロードを通し、海外の文物を最初に受け入れた都市でもある。広州最古の礼拝堂である石室聖堂は1863年に、フランス設計士と中国建築職人によって建設され、1888年に完工した建物。聖堂の正式名称は「石室聖心大聖堂」。乾物卸売市場通りである一徳路で唯一の洋式建築物なので、すぐに見つけることができる。文化大革命時の1966年から1976年まではミサが禁止され、一時はゴミ処理場として使われたこともあった。ステンドグラスや宗教画は、その時に毀損されたため、今では見ることができない。なんとも残念な話ですが、1980年、鄧小平体制が確立し、宗教の自由が与えられた後、文化財として登録された。花こう岩で建てられたゴシック様式の石造建築物である石室聖堂は、広州にある8つの聖堂のうち、最も美しい建物といわれている。建築および歴史的価値が認められ、中国観光等級評価制度にて最高のAAAAAランクが与えられている。

開館時間 08:00~17:30 入場料 無料

#### 広州建築様式「騎樓」ってなに？

広州建築物の特徴といえば「騎樓」という建築様式。中国南方建築様式と西洋建築を融合させたもので、上下九路步行街などの商業地区などで目にすることができる。商店街の1階部分が屋根のある回廊のようになっていて、夏の日差しや雨風などを防ぐ役割を果たしている。



### ビルの森に咲いたロマンチックな夜景

#### 花城広場 Huacheng Avenue

広州最高層の120階の高さの周大福、103階建てのIFC(国際金融センター)など、超高層ビルが林立する広州きっての繁華街。花城広場の真ん中に立つと、急速な変化を遂げている国際都市広州のさまざまな面を感じることができる。それぞれ異なるデザインの高層ビルがまるで競争するかのようそびえており、見上げてみると首が痛くなりそうだが、世界的な建築家が建てた建物を見物するのは面白いものだ。2010年広州アジア競技大会に合わせて造成された花城広場は、歴史こそ浅いが、多くの人たちに愛されている。摩天楼のネオンサインが明るく照らす中、心地よい風に吹かれていると、おもわず鼻歌でも歌いたい気分になる。

### 美しい家族書院

#### 陳家祠 Chen Clan Ancestral Hall

広州の陳氏一族が建造した書院と祠。1888年清の光緒帝時に着工、1894年に完工した。中国の文化財評価制度でAAAAランクを獲得した広州を代表する建築物とあって、見応え十分のスポットだ。広州一帯に住む陳氏一族の子弟を教育するために作られたという。科挙の試験勉強に専念できるようにこの場を提供したといい、歴史的にも意味のある場所だ。広東省一帯72県にいた陳氏一族が資金を出しあって、当時、最高の建築家だった黎巨川に設計を依頼したという。繊細かつ派手な屋根の装飾が一際目を引く。また、彩り豊かな彫刻像は、今にも動き出しそうなほど繊細に製作されており、まるで京劇の一場面を見ているかのようだ。窓、柱、階段、欄干、レングにも精巧な石造装飾が施されている。1万3200平方メートルの陳家祠はじっくり見てまわると1時間以上を要するので、十分時間をとって訪れよう。正門の巨大な石門を過ぎると、大小6つの庭園があり、その先に展示室がある。

電話 +86-20-8181-4559 開館時間 08:30~17:30  
入場料 10元 ホームページ [www.gzjcj.com.cn](http://www.gzjcj.com.cn)





### ゆうゆう散歩にぴったり荔枝湾 Lychee Bay

赤い熱帯果実のライチ(荔枝, Lychee)の木が、湾の周辺に多いことからその名がついたという荔枝湾。広州の中心部で最も時間がゆっくり流れているところだ。ここで目にするのは、車ではなく、緑豊かな公園と並行して水の上を走る渡し船。ゆうゆうと流れる水路に沿って、開花期に建てられた古宅が立ち並ぶその風景もどか。古宅の1階では広州の特産品が売られており、旅行者の関心を引いている。2階は閑静な雰囲気のある伝統茶室やコーヒーショップが入っている。水路の上にアーチ型の石橋が架かっており、その風景はまるで一幅の絵画のようだ。中国人が最も好む赤い花で彩られた渡し船が水上をのんびり行き来し、さわやかな香りを放っている。

住所 Li Zhi Wan Lu, Liwan Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng



### ビール工場が変身珠江琶醍 Party Pier

かつてビール工場団地だった場所が、広州市の都心再生プロジェクトの一環で、おしゃれなパブ通り、珠江琶醍に生まれ変わった。工場があった川辺にはヨーロッパ風バーやパブが立ち並び、中にはライブが楽しめる野外バーもあり、すてきな雰囲気。中でも一際目を引くのは、コンテンポラリーアートショップ「サン・イン・スカイ(Sun in Sky)」。10本の巨大なコンクリートの柱を連結した建物で、柱ごとにそれぞれ異なるコンセプトの円形ルームが設けられている。ところどころ錆びていたり、ペイントがはがれたりしているが、それも芸術的価値に昇華させている。壁全体がワインセラーのおしゃれなワインバー、カジュアルなビアパブ、額縁で装飾したレストラン、デザイナーズショップなど、いろんな店が入っており、面白い空間になっている。

住所 Yuejiang W Rd, Haizhu Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng 電話 +86-20-8420-2521

### 広州最大のショッピングモール太古匯 Taikoo Hui

広州で最もホットとラグジュアリーなショッピングモール。高層ビルと大型ショッピングモールが林立する天河区において一際目を引く存在だ。13万8000平方メートルの空間に、180余りのブランド、70以上の飲食店や売場が入店しており、館内では迷ってしまうこともしばしば。シャネル、ルイヴィトン、エルメスなど、世界的なブランドショップから、ユニクロのようなSPAブランド、各種輸入食品、酒類などを扱う大型スーパーマーケット「オルレ」まで、さまざまな店が入っている。フードコートには韓流ブームを反映し、CJFoodvilleの韓国料理ブランド「ビビゴ」やベーカリーショップ「トゥレジュール」なども入店している。

住所 383 Tianhe Rd, Tianhe Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng 電話 +86-20-3808-8000

営業時間 10:00~22:00

ホームページ [www.taikoohui.com](http://www.taikoohui.com)



## 広州きっての繁華街, 北京路

# Beijing Road

北京一の繁華街は王府井街だが、広州きっての繁華街といえば北京路だ。400メートルを越える歩行者天国になっており、大型デパート、海外有名ブランドショップなどが軒を連ねる。車両進入禁止区域なので、車を気にせずショッピングを楽しむことができる。



### アトムキャラクターショップ アストロボーイ Astro Boy

日本アニメの鉄腕アトムは、1965年末に「アストロボーイ(Astro Boy)」との名で、世界中で放映された。この店では、特徴的な髪型をして、赤いブーツをはいたアトムのさまざまなグッズを販売している。オープン式の1階売り場では、キャラクターTシャツやアトムのミニチュアなどが並ぶ。階段を上った2階は、手塚プロダクション

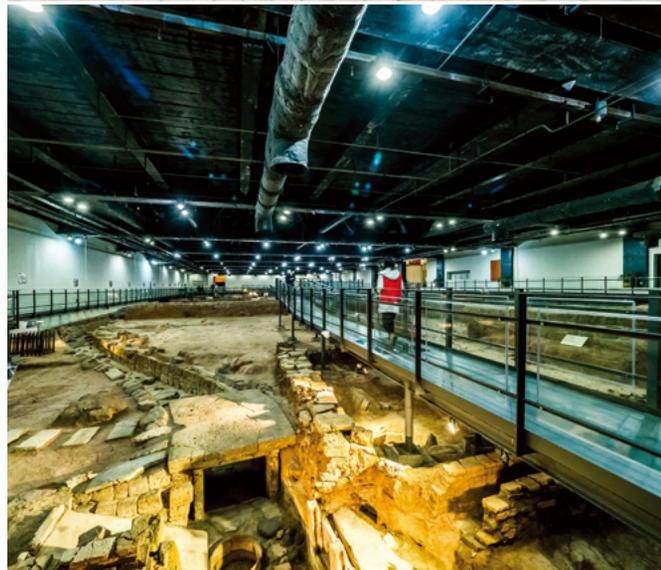
(Tezuka Production)とキャラクター提携しているブランドショップが入った大規模売り場になっており、アトムマニアが喜びそうなアイテムがずらりと陳列されている。



### かつて王宮があった場所に立つ南越王宮博物館

紀元前203年に創建、紀元前111年に滅亡した広東を中心に栄えた王国、南越国。93年間、5代にわたり、広東省からベトナムの北部にかけて領有していた。首都は広州に置かれていたことから、当時の王宮跡が1995年に発見され、王宮発掘現場の一部が南越国王宮博物館になっている。現存する王宮庭園のなかでは最も歴史が深く、大きな意味を持つ遺跡だ。ガラスの橋を歩くと、足元にはかつての遺跡を鑑賞することができる。

住所 316 Zhongshan 4th Rd, Yuexiu Qu, Guangzhou Shi, Guangdong Sheng  
電話 +86-20-8389-6501 開館時間 09:00~17:00(17:00までに入場) 入場料 無料





### ソーセージの華やかな変身老長沙大香腸

屋台天国の北京路には、口コミで人気を得たグルメ店が軒を連ね、一軒ずつ立ち寄ってはあれこれ食していると、おなかが破裂しそうなほどいっぱいになる。行列店が多い北京路において、最も長い列ができる店といえば老長沙。入口には巨大ソーセージの模型が設置されており、旅行者を誘惑している。長蛇の列をみて「きっとおいしいに違いない」と列に加わる人も多いという。このソーセージは、切れ目を入れてから油で揚げているのが特徴。表面はカラッと揚がっているが、中はやわらかくジューシー。木の枝のようにも、百済の刃物「七支刀」のようにも見えるソーセージは、切れ目がある分、食べやすいのもいい。ソーセージの表面に粉唐辛子がかかっているの、やや辛いが食欲に火をつけるおいしさ。中華風ソーセージの香腸は、香辛料が効いているほか、やや塩辛いのが特徴。

価格1つ13元

### 最も中国らしい通り上下九路步行街 Shangxiajiu Pedestrian Shopping Street

のんびり歩くのにちょうどいい上下九路步行街は、何度でも訪れたいくなる通り。北京路とよく似ているが、海外ブランドよりも中国ブランドショップのほうが多く立ち並び、洗練されているよりは懐かしい雰囲気がある。大きな馬のオブジェがある「上下九広場」を中心に、通りの両側には大小の商店が軒を連ねている。1920年代に建てられた古い建物が多いことから、1999年に広州市文物保護区域に指定された。歳月の重みを感じるそれらの建物はほとんどが2～3階建て。1階はブティックや伝統レストラン、2階は住宅として使われている。上下九路步行街へは地下鉄1号線長寿路駅下車後、D2出口を上ればよい。



### 中国式ファストフード店真功夫 ツンコンフー

真功夫は中国式ファストフードチェーンで、アメリカでいうところのマクドナルド、韓国でいうところのキムパブ天国のような存在だ。忙しい広州のビジネスパーソンが気軽に立ち寄る食事処として親しまれている。目印はブルースリーを彷彿とさせるキャラクターが描かれた看板。注文するとLTE級のスピードで料理が出てくる。トレイには、保温機能付きの小さな容器に入った炊き立てのご飯、あたたかい汁もの、炒めもの、野菜蒸し物などがのっけて、どれもおいしそう。真功夫のメニューのほとんどは蒸し料理や煮物なので、油っこくなくていい。伝統中華料理を食したいが、レストランに一人で入るのは躊躇するという時にここを利用したい。

価格セットメニュー21~37.5元



### 香ばしいスティックパン、クロッカンスシューミヒミヒ Mihimihi

屋台スイーツだが、店舗で売られているベーカリーと比べても勝るとも劣らない味。テイクアウト専門で、扱うのはクロッカンスシューのみ。注文と受けてから、生地の中にクリームを詰めてくれる。味は全4種類で、バター風味のオリジナルのほかに、イチゴ味、チョコレート味、抹茶味がある。アーモンドとクッキーを砕いたクランブルをあしらった表面はサククリした食感だが、中はカスタードクリームが入っていてクリーミー。一口食べると、中からクリームがあふれ出てくるほど、たっぷりのカスタードが入っている。なお、注文するところと商品を受け取る場所が別々の場所にあるので、気をつけよう。

価格1つ12元



# TPO会員都市で楽しむ韓国文化 K-CLIP 2017

アジア太平洋都市観光振興機構(以下TPO)と金海市が主催し、釜山、全州、益山、全羅北道後援のもと、7月31日から8月10日まで、「K-CLIP 2017」が金海と後援都市一円で盛況に開催された。今回の行事に参加した世界中の若者たちは韓国文化を体験し、金海、釜山、全州、益山など、韓国のあちこちを見てまわりながら韓国固有の美と魅力をゆっくり堪能した。

構成 シム・ミナ 写真 オ・チュングン、イ・グンス



## ‘K-CLIP’とは？

TPOは「観光分野人材育成事業」の一環として、毎年1～2回会員都市で「クリップ(CLIP)」を開催し、大学生に外国文化体験や他文化についての知識、見聞を広げる機会を提供している。今年は「K-CLIP」とのタイトルで、金海市をはじめとする韓国の会員都市にて開催した。韓国に関心がある世界中の若者たちからの応募があったが、その機会が与えられたのは残念ながら先着30名に限られた。「Korea Through My Eyes」とのテーマで企画された「K-CLIP 2017」は、文化講座、文化体験、シティツアー、チームプロジェクトなどのプログラムで構成。参加者は開催都市である金海市の歴史や伝統について学んだほか、伝統遊びや韓紙工芸を体験しながら韓国文化の美しさにふれた。また、金海、釜山、全州、益山を訪問し、各地域の文化遺跡および観光名所の視察も行った。韓国で感じたことを参加者同士が共有するために、5人1組でチームを組み、PPTやUCCを制作したり、演劇で発表したりするプロジェクトも実行。最優秀チームには特別賞が授与された。



卵から生まれた金首露王をテーマにした興味深い時間旅行が体験でき、神魚山にある盆山城に沿ってスカイツアーを楽しんだりできるほか、昼はテーマパークで思う存分遊びまわり、夜は天体望遠鏡で金星や木星が観察できる場所、金海を訪れてみよう。

# 金海



## 五感満足体験型パーク 金海伽耶テーマパーク

第4の帝国、伽耶の歴史を体験、遊び、展示を通して、体感できる五感体験型テーマパーク。2015年5月、金海市漁防洞盆山頂上の一帯、17万9000m<sup>2</sup> (約5万4000坪)の敷地に造成された。王の執務室である太極殿には、まるで実物かのような金首露王と許王後の蟬人形があるほか、龍の頭をしている双鱼や巨大なカメなども展示されている。その後方には金首露王の居所である駕洛大殿が位置。右側には許王后ストーリー館があり、許王后がインドから伽耶までやってきたその婚行の道の詳細経路が紹介されている。伽耶テーマ体験(弓作り、弓体験など)、工芸体験(木工芸、組み紐、伝統凧作り)、陶芸体験(ろくろ回し、鉢作り)、鉄器体験(铸造見学、スコップ作りなど)、服飾体験(伽耶伝統衣装試着)など、さまざまな体験ができるセクションもあり、子どもの学習空間としても人気だ。また、金首露王の勇ましさや気性が感じられる伽耶武士アドベンチャーなるスポットもある。アドベンチャー内には、仕掛け噴水が設置されているほか、騎馬武士場やネット遊具、ローラーズライドなど、楽しい施設も充実している。

住所 慶南金海市伽耶テーマギル161(漁防洞) 電話 +82-55-340-7900  
開館時間 夏期(3~10月) 09:00~22:00、冬期(11~2月) 09:00~20:00  
入場料 大人5000ウォン、青少年4000ウォン、子ども3000ウォン  
ホームページ www.gaya-park.com



五感満足テーマパーク「金海伽耶テーマパーク」には、思う存分遊びながら金首露王の勇ましさなどが体感できるエコアドベンチャーパークもある



## 楽しいアドベンチャーワールド 伽耶ランド

伽耶テーマパークの向いにあるアドベンチャー遊園地。10数台のアトラクションがある伽耶ランドエンジェルパークとキャンプが楽しめる伽耶ランド月光夜場に分かれている。遠くからでもよく目立つエンジェル風車大観覧車)、目にするだけでもくらくらしてくるスカイサイクル、風を切って空を飛ばすスカイライド、スリル満点の大型ブランコのエンジェルスイングなどが人気。神魚山の澄んだ空気に包まれながらゆったり過ごしたいなら、月光野営場がおすすめ。オートキャンプ場とバックパック野営場、グランピング、トレーラーハウスなど、130余りのキャンプゾーンが用意されている。

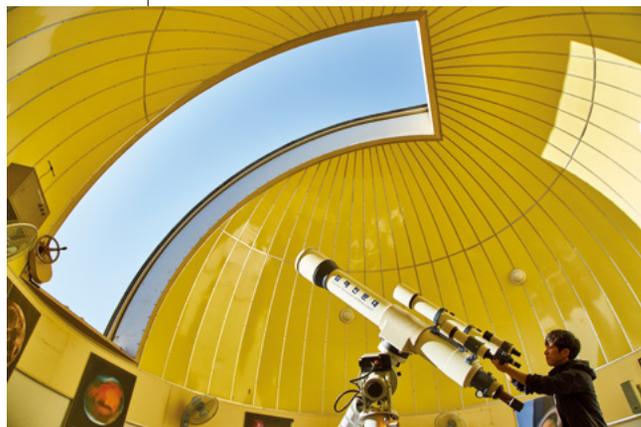
伽耶ランドエンジェルパーク 住所 慶南金海市仁濟路368(三芳洞1391-2)  
電話 +82-55-346-6000 営業時間 10:00~18:00 入場料 3000ウォン、BIG5 1万2000ウォン ホームページ gaya-land.com  
伽耶ランド月光夜場 住所 慶南金海市神魚山ギル67(三芳洞826)  
電話 +82-55-332-9100 ホームページ moonlightcamp.co.kr



## 夜空にまたたく星の宴 金海天文台

2002年2月1日にミレニアム記念事業の一環としてオープンした嶺南地域唯一の市民天文台。金海市内外洞の東側の山に位置するドーム型の建物で、まるで山が卵を抱いているかのように見えるのが特徴だ。展示棟と観測棟があり、展示棟では、地球の自転と公転、季節の星座、惑星中継、天体写真、望遠鏡の構造、未来宇宙都市の模型などが観賞できる。また、直径8mのドームスクリーン上で、実物とほぼ同じ星座を観察することも可能。シルバーのドーム型展示室横の展望台に上がると、金海市内を一望することもできる。また、夜になると星が瞬く様子や、きらびやかな夜景も堪能でき、素敵な思い出作りができること間違いなし。

住所 慶南金海市伽耶テーマギル254(漁防洞山2-80) 電話 +82-55-337-3785  
開館時間 14:00~22:00 毎週月曜日休館 入場料 展示室無料 プラネタリウム 大人3000ウォン、青少年2000ウォン、子ども1500ウォン 天体観測 大人4000ウォン、青少年3000ウォン、子ども2500ウォン  
ホームページ ast.ghdc.or.kr





### 金海の歴史と文化が一堂に会した

#### 国立金海博物館

古代国家のひとつである伽耶の文化遺産の集大成を展示するために、1998年7月29日に開館した博物館。伽耶の建国説話が伝わる金海市亀旨峰のふもとに位置している。伽耶の文化財だけでなく、釜山・慶南地域の先史時代文化と伽耶の成長基盤になった弁韓の文化遺産の鑑賞できるのが魅力。展示人は1、2階で「伽耶への道」をテーマにした1階には、洛東江下流域の先史文化、伽耶の黎明期、伽耶の成立と発展過程がよくわかる遺物の数々が展示されている。「伽耶の人々の暮らし」をテーマにした2階には、車輪型土器や高坏など、しなやかで美しい伽耶土器や、鉄器時代の遺物(鎧や兜)、海上貿易が活発だった頃のものともみられる船型模様土器、青銅の足鼎などが展示されている。博物館の一角には子どもパーク「伽耶ヌリ」もある。

住所 慶南金海市伽耶通り190(亀山洞 232) 電話 +82-55-320-6800  
 開館時間 火~金曜日 09:00~18:00、土・日・祝日 09:00~19:00  
 入場料 無料 ホームページ gimhae.museum.go.kr

伽耶のさまざまな文化遺産を観賞するなら「国立金海博物館」がおすすめ。曲線がしなやかで美しい伽耶土器は必見



### 首露王と許王後の神話が伝わる神魚山

標高630メートル。首露王と許王後の神話が伝わる聖山。北東はゆるやかなカーブを描きながら洛東河が流れ、南側には平野が広がっている。四季折々の美しい景色と登山道のお知らせで見られる奇岩怪石が、登山をより楽しいものにしてくれる。中でも、神魚山の麓のうっそうとした森と、岩石から涼やかに落ちる滝がある長尺溪谷は圧巻。清らかに透き通った水は、真夏でも1分以上足をつけていられないほど冷えているとあって、この辺りは避暑地としても人気がある。あっさり味でスタミナ満点のペクス(鶏の水炊き)食堂が並ぶ長尺ペクス村があるので、食事をかねて休憩をとるのにおすすめ。



### 金海が一望できる最高のビューポイント盆山城

盆山の頂上にある周囲約923メートル、幅約8メートルにおよぶ城壁で、頂きからは洛東江下流の広い平野を一望することができる。山頂の平坦な地を囲むようなメテ式(山頂式)の山城で、南北に長い楕円の形をしている。城跡はほぼ垂直で、高さは約3~4m。史跡第66号に指定されている。ここに建てられている靖国君朴公蔵築城事蹟碑には、朝鮮王朝初期に朴蔵が古山城に依拠し修築、壬辰倭乱(文祿の役)で崩れたが、1871年(高宗8年)に再び修築し現在の姿になった、との記載がある。盆山城へは海恩寺を通っていくのが一番の近道。海恩寺のそばの道を少し下ると、金海の全景が見渡せる頑丈な城壁が続く盆山城が見えてくる。

住所 慶南金海市伽耶路405番内ギル210-162



### 伽耶国の始祖 金首露王の陵 首露王陵

六つの金の卵のうち、最初に殻を破って出てきたことから「首露」と名付けられた首露王は、金海金氏、許氏、仁川李氏の始祖であり、駕洛国を創建した王だ。首露王陵は、金首露王の魂を奉った陵であり、「納陵」とも呼ばれる。王陵手前に位置する納陵正門の華盤上の石塔の真ん中に、向かい合う二匹の魚の文様(神魚像もしくは双魚像という)が彫られている。また、王陵から向かって左側にある碑石の螭首には太陽紋が彫られているが、これらは首露王妃の故国、インドのアヨーディヤーのものと同じ構図だという。雄大なスケール、安定感ある配置、無駄のない美しさが印象的な駕洛国(AD42~532年)の始祖大王の陵、首露王陵は金海をシンボリックな文化遺産として知られている。

住所 慶南金海市駕洛路93番ギル26 電話 +82-55-330-7313



百済武王の時に造成された王宮跡である「益山王宮里遺跡」、百済の建築技術の集大成である「益山弥勒寺址」など、ユネスコ世界遺産に登録された百済歴史遺跡区をめぐり、古代東アジアの文明に触れた。

## 益山



### 百済の王宮址益山王宮里遺跡

百済30代武王が遷都し、建設した王宮の跡。史跡第408号に指定されており、面積は21万6862平方メートルにのぼる。百済末頃から統一新羅初期、統一新羅の末期にかけて造られたと推定されている。1989年から現在まで発掘調査が行われ、約1万1000点の遺物が発掘された。石塔や金堂、講堂などが出土したことから、統一新羅初期には寺として使われていたと推定される。最大の見どころは、国宝第239号に指定されている王宮里五重石塔。石塔からは、純金金剛経板、ガラス製の舍利瓶、仏像、玉などが出土し、こちらは国宝123号に指定された。近年、王宮の台所址から焼かれた土と大量の炭、鉄製の釜、甕などが出土し、話題になった。より多くの遺物を鑑賞するなら、「王宮里遺跡展示館」を訪れよう。常設展示館では百済の歴史と文化についての展示がなされている。かつてトイレで使用されていた後始末用の棒や、名文が刻まれている瓦など、数々の興味深い展示物を観覧することができる。

住所 全北益山市王宮面ゲンソン路666 電話 +82-63-859-5778  
営業時間 09:00~18:00 入場料 無料  
ホームページ [www.iksan.go.kr/wg](http://www.iksan.go.kr/wg)



益山の王宮里寺址五層石塔は益山王宮里遺跡最大の見どころ。王宮里では興味深い百済遺跡の数々が発掘されている



### 百済仏教美術の真髄をみる弥勒寺址遺物展示館

現在、弥勒寺址の石塔は復元工事中のため、観覧できるのは柱と、新しく造られた銅の塔のみだが、弥勒寺址遺物展示館では、弥勒寺址から出土した約1万9000点の遺物が観賞できる。入口を入ると、弥勒寺の1/50の縮小模型が目をつく。弥勒菩薩を安置するための金堂と塔をそれぞれ3つ建っているのが実に独特だ。2009年に石塔を解体する際、中心の柱から見つかった舍利荘厳具が展示されているので、じっくり観賞したい。中でも、金で製作された舍利奉迎記には、弥勒寺創建の背景や石塔建設年などが詳細に記録されている。舍利荘嚴から出てきた三重構造の舍利瓶やさまざまな供養品からも百済の素晴らしい金属工芸技術が垣間見られる。舍利器はその名の通り舍利を入れる器で、石塔の塔身に安置される。舍利外箱の中に舍利内箱があり、またその中にガラス瓶が入っているというように、まるでマトリョーシカのように何重にもなっているため、完全なる形態で舍利が保管できたのだという。このほか、金堂址の北側にある回廊から出土した宝物第1753号「金銅香炉」も円形に近い形で出土したことから脚光をあびた。

住所 全北益山市金馬面弥勒寺址路362 電話 +82-63-2090-6799  
開館時間 09:00~18:00, 月曜日休館 入場料 無料  
ホームページ [www.mireuksaji.org](http://www.mireuksaji.org)



### 百済の建築技術で造った 東アジア最大級の伽藍 益山弥勒寺址

弥勒山の南側の裾野に位置する、史跡第150号指定の遺跡。昨年、益山王宮里遺跡とともにユネスコ世界遺産に登録された。601年百済武王時に建てられた弥勒寺は、<三国遺事>によると、王妃が懇願し創建されたという。国宝第11号に指定されている弥勒寺址石塔は、韓国最古で最大の石塔。花こう岩で造られた石塔は、発見された時、西側の面と南側の面がほぼ崩れ、9層のうち6層までしか残っていなかった。木塔が主流だった当時、武王は三国で初めて石塔を建て、そして東洋最大級の寺院、弥勒寺を建てて百済の格を高めた。弥勒寺址は統一新羅と高麗時代を経て朝鮮王朝時代初期まで維持されたが、17世紀の壬辰倭乱(文禄の役)後に廃寺、現存しているのは塔のみだ。1990年から発掘調査がスタートし、1998年に三塔三金堂式の独特な伽藍が見つかった。百済の建築や工芸など、最高技術を駆使して造られた建物だったことが伺える。

住所 全北益山市金馬面箕陽里32-2 電話 +82-63-290-6784  
開館時間 09:00~18:00, 月曜日休館 入場料 無料



全州は車がなくても徒歩で巡ることができる観光スポットがあちらこちらにあるほか、屋台グルメだけでも満足満腹になるほど、さまざまなおいしい料理がある。全州を訪れたら必ず実行したいバケッリストを挙げた。

# 全州



## 全州府城の古道で時間旅行

全州市の古の名称は全州府。倭寇の侵入や自然災害により、現在は豊南門を除き、城壁や城門は残っていないが、路地には歴史の跡が潜んでいる。散策コースである全州府城の道は、韓国伝統文化の殿堂から、かつて北門が存在した五叉路文化広場を通り、さらに朝鮮王朝時代に使臣や官吏が住んでいた豊沛之館(客舎)を抜け、パヌジル縫製)通りへと続く。ミシンの声が聞こえる狭いこの通りはかつて南部市場から南部配車場へ向かう人々が通った道で、当時はにぎわっていたという。パヌジル通りを歩いていくと、韓方薬の香りが漂う菓典通りに出てくる。さらに歩くとチャイナ通りだ。現在も、近代文化遺産の中国人反物商店(登録文化財第174号)と'博多屋(登録文化財第173号)'があり、色あせた記憶を抱いて行んでいる。チャイナ通りを東門方面へ歩いていくと、昔ながらの喫茶店、サミョン茶房がある東門芸術通りにたどりつく。サミョン茶房は、1952年創業の韓国で一番古い喫茶店。かつて文学者や芸術家などのインテリ層が展示や詩の朗読会などを行っていたところだ。



## 韓服を着て韓屋村をそぞろ歩き

全州といえば伝統家屋の韓屋が軒を連ねる韓屋村が有名だが、近年、その韓屋村では韓国の伝統衣装韓服を着てそぞろ歩く旅行者が多くみられる。韓屋村は、1910年の日本統治時代、中央洞一帯で富を成した日本人への反発から校洞エリアに韓国伝統家屋街を形成したのがその始まり。韓服を着ると、過去へタイムスリップしたような気分になる。韓屋村で全州の風情や趣を感じたいなら、瓦屋根が並ぶ落ち着いた雰囲気慶基殿を訪れよう。朝鮮王朝を建国した李成桂の肖像画を奉安している場所で散策するのにちょうどいい。紅一門をくぐり、境内をゆっくり歩くと、緑豊かで古色蒼然な慶基殿が満喫できるとあって、韓服を着た観光客であふれている。

**慶基殿 住所** 全州市完山区豊南洞3街102 電話 +82-63-287-1330  
**拝観時間** 11～2月09:00～18:00、3～5月、9～10月09:00～19:00、  
 6～8月09:00～20:00 **入場料** 大人3000ウォン、中高生2000ウォン  
**全州韓屋村韓屋主ル 住所** 全州市完山区慶基殿ギル120  
**電話** +82-63-277-1839 **韓服レンタル費** 5000ウォン

## 全州式のお酒文化を楽しむ

全州には8つのマッコリ通りがあるが、中でも一番古くからあるのが三川洞マッコリタウン。マッコリ居酒屋約30店が軒を連ねており、日が暮れる前から、マッコリを飲みに来る多くの人が集まってくる。オープンして今年で17年目になるヨンジンチブは行列のできる人気のマッコリ酒場。この目玉はおつまみ。ヤカンに入ったマッコリを注文すると、蒸し貝や茹で肉、豆腐キムチ、サバの煮付け、サンマの塩焼きなど、約20種類のおつまみがテーブルいっぱい並ぶのだ。ヤカンマッコリをお代わりすると、また別のおつまみが運ばれてくる。どれもマッコリによく合うものばかりなので、ゆっくり味わいたい。マッコリを存分に楽しんだら、二次会はカメク屋へ行こう。出版社と印刷所が並んでいる出版通り、慶園洞に行くとかメク店が軒を連ねている。カメクとは、店を意味する韓国語の「カゲ」と、ビールを意味する「メクチュ」の合成語。地元スーパーで缶ビールを買って、店先の簡易イスに座ってビールを楽しむという、この地域ならではの文化だ。チョニルスーパーはジャージなど、気楽な格好で訪れることができるカメク店だ。おつまみは鱈の干物とイカ焼きのみ。軽く炙ってくれるので、やわらかくおいしい。夏になるとカメク祭りなるものも開かれ、全国各地から多くの人が集まってくる。

**ヨンジンチブ 住所** 全州市完山区担馬山路14 電話 +82-63-224-8164  
**価格** マッコリやかん1杯分2万ウォン  
**チョニルスーパー 住所** 全州市完山区(ワンサンク)玄武2ギル16  
**電話** +82-63-284-0793

全州式のお酒文化を楽しむなら三川洞マッコリタウンを訪れよう。ヤカンに入ったマッコリを注文すると約20種類のおつまみが付いてくる



韓国では1950年6月25日に勃発した韓国(朝鮮)戦争のことを625と呼ぶ。当時、釜山には全国各地から多くの避難民が押し寄せ、約40万人だった釜山の人口は100万人以上に膨れ上がった。何としてでも生き延びなければならなかった彼らは水も電気もない山側の共同墓地に掘って小屋を建てて暮らした。そんな67年前の避難民の目線で、釜山を歩いてみた。

## 釜山



### 臨時首都釜山の歴史臨時首都記念館

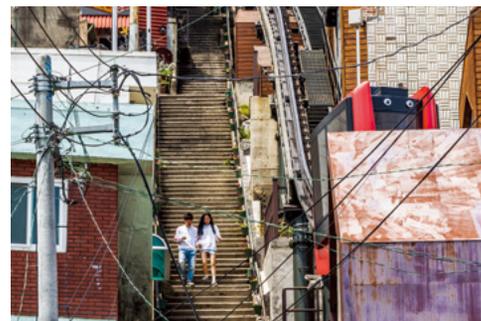
1925年に慶南道庁が晋州から釜山に移転した。この建物は1926年8月から慶南道知事官舎として使用されていたほか、1950年に戦争が勃発し、3年間にわたって釜山が臨時首都になった際に、李承晩大統領が住まいにしていた歴史ある建物だ。大統領の遺品が展示されている執務室、戦争当時、外交業務が行われていた応接間、李承晩大統領と妻のフランチェスカ女史が暮らした部屋などで構成されており、当時の様子を垣間見ることができる。また、大統領官邸の後方にある旧釜山高等検察庁検事長官舎も、2012年に改築し、展示館として活用している。レンガ造りの臨時首都記念館は、当時の姿のまま残っていることから、釜山市記念物第53号に指定されている。庭園もおもむきがあるので一緒に観覧したい。

住所 釜山市西区臨時首都記念路45 電話 +82-51-244-6345  
営業時間 09:00~18:00、毎月最終週水曜日 09:00~20:00、月曜日休館  
入場料 無料 ホームページ <http://museum.busan.gov.kr/monument>



### 死者と生者の町 峨嵋洞碑石文化村

戦争当時、全国各地から押し寄せた避難民は100万人近くにのぼり、行き場のない彼らは町役場で受け取った住所へと一斉に向かった。たどり着いた先は山の麓にある共同墓地。彼らは墓の上に二坪ほどの掘って小屋を建て、そこで大家族が重なり合うようにして暮らしたという。その町は今なお残っている。クモの巣を張り巡らせたかのような複雑な路地を歩いてみると、約100年は墓地だったことをうかがわせる痕跡がいくつもあることに気がつく。墓石や装飾用の石材が階段や石垣に使われていたり、路地の曲がり角に置かれていたりするのだ。釜山観光公社では、これらを詳しく説明しながら案内する釜山元都心ストーリーツアーを無料で開催している。



### 山腹道路につながる急階段168階段

その名の通り、168段の階段。釜山港から山腹道路へ向かう際の一番の近道だ。かつて釜山港に船が入ってくると、避難民たちは仕事を得ようと、この階段を走って降りたという。上から下まで6階建てビルほどの高さがあり、見上げるだけでめまいがするほど。元気の若者でも一気には駆け上がれない急勾配な階段とあって、途中で腰を下ろして休憩したり、膝に抱えるようにしてゆっくり降りていく高齢の人々の姿が長らく見られたが、2016年5月、階段脇に全長60メートルのモノレールが設置された。最大傾斜42度、1分あたり35メートルの速度でゆっくり運転されており、住民たちの足となっている。モノレールに乗って上までいくと、山腹道路に沿って建ち並ぶカラフルな家々や、釜山港の様子が一望できる。

住所 釜山市東区ヨンチョギル191番ギルモノレール 運行時間 07:00~20:00



### 釜山一の近代建造物 百濟病院(現ブラウンハンズ)

1922年に開院した釜山初の近代式個人総合病院。当時、平屋建てしかなかった釜山において、レンガ造りの5階建ての病院はひととき目立つ存在だった。西洋医療スタッフが揃った百濟病院は「釜山3大病院」のひとつとしてその名を馳せた。しかし、旅の途中で病死した人の体で標本を作っていたことが院外に知れわたり、患者数が激減。また、変な噂も飛び交うなどして、経営は悪化の一途をたどり、病院に追い込まれた。その後、建物は中国人の手に渡り、中華料理店、日本人将校宿舎、治安事務所、結婚式場など、様々な用途で使われてきた。現在は、インダストリアルコンセプトカフェとして使用されている。錆ついた鉄の門、欠けたタイルなどがそのまま残されており、近代建築特有の雰囲気漂う、波乱万丈な歴史とストーリーを持ったカフェ空間になっている。

住所 釜山市東区中央大路209番ギル16 電話 +82-51-464-0332 価格 エスプレッソ4500ウォン、アメリカノ4800ウォン、オレンジエイド6800ウォン ホームページ [www.brownhands.co.kr](http://www.brownhands.co.kr)

# 都会のオアシス 世界の公園6

地元の人にとってはなじみの憩いの場でも、旅行者にとっては特別な観光スポットになりうるのが公園だ。  
世界各国の美しい公園を紹介する。

構成 コアラ 写真 <AB-ROAD>資料室





 **広州**  
越秀公園

越秀山の地形を利用して造成された広州初の公園。越秀公園には大小7つの丘とボート遊びができる3つの人造湖がある。総面積は93万平方メートルと大規模なので、公園を散歩だけでも立派な旅行だ。越秀山の頂上には高さ28メートルの広東省最大規模の楼閣式建築物「鎮海楼」がある。1380年に監視塔として造られたもので、現在は「広州博物館」になっている。最上階の5階に上ると、高層ビルが林立する広州の摩天楼を一望することができる。同じく山頂には、中国の政治家であり、中国革命の指導者だった孫文を賛える中山記念碑も高くそびえている。また、越秀公園には、明代の1380年代に築造された長さ1000メートルの城壁が残っている。城壁跡に沿って公園をのんびり散歩すると、過去への時間旅行が楽しめるだろう。このほか、広州市のシンボルである五羊石像にもぜひ立ち寄りた。羊に乗った五人の仙人が広州に降りてきて、豊穡のシンボルであった黄金の稲穂と五匹の羊を残し、再び天に昇っていったという伝説に基づいて造られたものだ。高さ11メートルにもおよぶ五羊石像は五穀豊穡のシンボルであることから、記念撮影スポットとして人気を集めている。

交通 地下鉄2号線越秀公園駅で下車



 **台北**  
野柳地質公園

台北北部海岸にある奇岩が並ぶ公園。海水浴場や温泉、奇岩怪石があることで有名な観光都市、野柳に位置している。海岸沿いには珍しい形の岩が集まっていることから、世界地質学的にも重要な海洋生態系資源だと評価されている。青い海と侵食された珊瑚の彫刻が相まって、まるで自然が描く一幅の絵画のような絶景が広がっていることから、野柳を訪れた際の必須観光コースになっている。野柳地質公園は大きく3つに区域されている。園内に入って最初に目につくのは蕈状岩群落だ。巨大なキノコのように見えることからキノコ岩とも呼ばれている。蕈状岩の中で観光客に最も人気があるのは、クィーンズヘッドとの愛称で親しまれている岩。エジプトのネフェルティティ王妃が冠を被っているシルエットとよく似ていることから、その名がついたという。確かにねじり上げたような髪型や細い首、鼻や口の形までそっくりだ。野柳公園の中で最も珍しい岩は、円錐形をした「燭台岩」。炎が灯ったロウソクのような形をしているのが印象的。このほか、たくさんの穴があいている「蜂の巣岩」、真四角の「基盤岩」、デコボコした形の「生姜岩」など特異な岩が多い。なお、岬の果てには海に面したサービスエリアがある。

交通 金山行き 172番バスに乗り野柳地質公園入口駅で下車

 **クアラルンプール**  
KLCCパーク

マレーシアのシンボルともいえるクアラルンプールのツインビル「ペトロナスタワーズ」の足元にある公園。クアラルンプールの中心部に造成された約20万平方メートル規模のKLCC(Kuala Lumpur City Center)パークは、高層ビルに囲まれていることから「都会のオアシス」とも呼ばれている。池があり、2000本余りの木々が植わる緑豊かな園中には、さまざまな彫刻作品が設置された散策路がある。蒸し暑いクアラルンプールにおいてKLCCパークは、地元の人々にとっては休憩にぴったりの憩いの場、観光客にとっては見どころが多い美しい観光スポットになっている。ペトロナスタワーズ内にある複合ショッピングモールスリアKLCCと公園は連結されているので、ショッピングした後に散歩を満喫するのもおすすめ。園内にはプレイルームやプールなど、子ども用施設が用意されているので、家族連みんで楽しめる。夜になると、周辺のビルに明かりが灯り、KLCCパークからきれいな都会の夜景が堪能できる。また、夜8時からは園内のシンフォニー湖で、噴水が色とりどりにライトアップされるレーザー噴水ショーが繰り広げられ、ロマンチックに彩られたクアラルンプールの夜が楽しめる。

交通 LRT KLCC駅から徒歩5分



 **ホーチミン**  
ピンクオイ・ツーリスト・ヴィレッジ

ホーチミンからバスに乗り、サイゴン川に沿って30分ほど走ると、緑豊かな公園にたどり着く。ホーチミン市民の憩いの場、ピンクオイ・ツーリスト・ヴィレッジだ。敷地が広大なため、ピンクオイ1、ピンクオイ2、ピンクオイ3と、エリアが区分されている。交通量の多い市内での観光に少し疲れたら、ピンクオイ・ツーリスト・ヴィレッジ観光がおすすめ。現に、華やかな経済都市ホーチミンの街を逃れ、のんびり散歩したり、デートを楽しんだりしているベトナム人の姿も多くみかける。園内には、渡し舟が漂う湖があったり、のんびり散策できるコースがサイゴン川のほとりに造成されていたり、のどかで美しい風景が楽しめるスポットがいたるところにある。このため、ベトナム人カップルにはウエディング撮影場所としても人気を博している。散策を満喫したら、休憩がてら、緑の中でベトナム伝統料理やお茶などが楽しめるカフェやレストランへ入ろう。園内にはリゾートホテルさながらの宿泊施設があるほか、週末にはベトナムの市場でよく見かける屋台グルメのビュッフェレストランもオープンするため、ホーチミンから多くの家族連れがやってくる。レストラン内のバンガローでは釣りも楽しめ、釣れた魚はその場ですぐに調理してもらえる。

交通 ベンタイン/バスターミナルから44番バスに乗りBinh Quoi 1駅で下車





 **鹿児島**  
城山公園

鹿児島を訪れたら、市街地の中心部の小高い丘に位置する城山公園を訪れたい。城山は西南戦争の最後の激戦地で、西郷洞窟や西郷終焉の地など、西南戦争にまつわる史跡がたくさん残っている場所だ。公園として整備されたのは1890年で、鹿児島市最初の公園として知られている。約130年の歴史を持つだけあり、今では鹿児島市民の憩いの場として、また観光客の観光スポットとして親しまれている。城山公園には樹齢400年以上のクスノキやシロヤマシダなど、600種類を越える植物が自生しており、まるで植物園のよう。頂上付近は亜熱帯植物が生い茂っており、エキゾチックな雰囲気漂う。多種多様な昆虫、鳥類なども生息しており、園全体が自然生態の宝庫だ。園内で一番人気のスポットは頂上に位置する城山展望台。鹿児島の市街地が一望できるほか、遠くに鹿児島湾や桜島も望める。大都市、青い海、活火山のすべてが見渡せるので、ぜひ立ち寄りた。なお、展望台までは遊歩道が整備させているので、気軽に行くことができる。このほか、公園内には、城跡、神社、洞窟などの歴史スポットがいたるところに存在する。

交通 稲城駅から22番バスに乗り城山公園駅下車



 **蔚山**  
大王岩公園

蔚山12景のひとつに数えられている大王岩公園は、独特の美しさを持つ観光スポット。巨大な岩が密集した大王岩は、その形が、龍が天に舞い上がるように見えることから、「龍が昇天する途中で落ちた」と言われ、「龍墮岩」とも呼ばれている。大王岩は海岸がよく見かけるようなグレー色ではなく、赤みがかったのが特徴。このため、青い海の色とのコントラストが非常に独特で美しい。夜になると、岩と岩に架けられた鉄橋が色とりどりにライトアップされ、昼間とはまた違った大王岩の魅力を感じることができる。公園入口から大王岩にかけては、両側に樹齢100余りの松1万5000株が植えられた散策路が続いており、ゆっくり散歩するのにちょうどいい。公園内には龍の形をした大きなすべり台をはじめ、各種遊具が設置されたミル公園、ギリシャ神話に登場するクレタ島の迷路をモチーフにして造られた自然迷路園、設置されてから百年間同じ場所での道しるべとしての役割を果たしてきた灯台など、見どころも遊ぶ場も満載。自然の風景を楽しみながら、各種施設もくまなく巡ろう。公園の北側には、半月形をした美しい白い砂浜が広がる日山海水浴場がある。遠浅なので、夏は海水浴を楽しむ家族連れの姿が多くみられる。

交通 蔚山駅から5002番バスに乗り日山海水浴場駅下車

# 全州の挑戦 韓国を超えて アジア文化の中枢に



全州市庁  
キム・スンズ

全州市といえば見どころや名物がたくさんある都市。おいしく、見た目も美しい伝統料理のビビンバや、年間1000万人もの観光客が訪れる全州韓屋村など、韓国の伝統がそのまま残っているのだ。「最も韓国らしい都市」として知られる全州市だが、今のままでは満足していないという。TPOと共に広報マーケティングを行いながら、新たなアジア文化の中心地として、さらなる努力をつづけている。

構成 イ・ジョンファ 写真 TPO

## 全州の紹介をお願いします。

全州は、後百済の初代王である甄萱(キョン・フォン)が、900年に後百済の首都とした都市です。朝鮮王朝時代には全羅道全域と済州島を管轄し、全羅道の行政の中心地としての役割を果たしてきました。近年は、2010年国際スローシティに、2012年ユネスコ音楽創意都市に指定されました。全州は、韓国伝統生活様式の根幹である「韓国伝統家屋、韓国料理、韓紙」など、最も韓国的な伝統文化が息づいた都市であると同時に、「アジア文化の中枢」ともいえるでしょう。

## 全州市にはどのような観光資源がありますか？

### おすすめスポットがあれば教えてください。

代表的な観光地といえば、毎年1000万人の観光客が訪れる全州韓屋村です。また、伝統市場である南部市場では、若者が主導する青年モールや、夜市場が開かれ、人気を集めています。ウォータースクリーンとレンゲが壮観をなす徳津公園、アジュン湖など、ナイト観光や公演観光が楽しめるスポットもあります。このほか、国家機関が運営する国立無形遺産院や国立全州博物館、市が運営する韓国伝統文化の殿堂、韓紙産業支援センターでの伝統文化体験もおすすです。

## 昨年一年間に全州市を訪れた観光客数とそれともなう経済的効果についてお聞かせください。

ビッグデータを分析したところ、2016年に全州韓屋村を訪問した観光客は、一日平均2万9231人、年間1066万9427人との集計結果ができました。2015年の同時期の965万3035人よりも約100万人増えています。全州を訪れた外国人観光客は19万4048人、このうちの72%にあたる13万9866人が全州韓屋村を訪れています。全州市全体観光客の消費支出額は2017年が7560億ウォン、2021年は1兆340億ウォンになる見込みです。これをもとに2021年全州訪問観光客総消費支出額の経済的波及効果を分析したところ、生産誘発効果は1兆897億ウォン、所得誘発効果は3441億ウォン、就職誘発効果は1万1727人、付加価値誘発効果は7693億ウォン、税収誘発効果は518.9億ウォンになることが予想されます。

## 海外への広報はどのようにされていますか？

国際観光展に毎年参加し、TPOと共同で広報マーケティングを行っています。また、韓国旅行者協会(KATA)の特別会員に加入し、観光情報と観光交流の拡大も持続的に行っています。全州は、文化体育観光部と韓国観光公社が推進しているグローバル観光資源化事業に選ばれたので、外国人観光客のための機関や団体と連携したプロモーションも活発に展開しています。また、MICE関連の外国人観光客を誘致する商品開発および運営にも乗り出しています。



**全州市が観光産業発展していく上での計画も気に入りえます。**

全州は、全州韓屋村を中心とした「最も韓国的な都市」とのブランド定着に成功し、伝統文化をベースにしたグローバル都市のイメージを構築するなど、韓国的観光産業の新モデルを提示してきました。今後も「最も韓国的な未来観光中心都市全州」とのビジョンを持ち、グローバル観光都市、観光産業での地域成長、観光客と市民が幸せな観光都市作りにも進んでいく計画です。

**2017年下半年に開催される全州市の主要行事とイベントをご紹介します。**

「全州ビビンバ祭り」を10月26日から29日までの4日間、開催します。韓国の代表的な伝統料理である全州ビビンバの独創性をアピールするお祭りです。これに先立ち「全州世界ソリ(声)祭り」を9月20日から24日までの4日間、韓国ソリ文化の殿堂と韓屋村一帯で行います。

**全州市のTPO会員としての意義と覚悟、そして今後の機構活動計画についてお話しください。**

全州市は、2003年にTPOに加入し、第1回総会から参加してまいりました。去る2016年6月には10ヶ国77会員都市150名余りが参加したTPOフォーラムを誘致しました。今後も韓国を代表する運営都市として活動するとともに、伝統文化都市として韓国文化と観光文化を先導していくことに最善を尽くしたいと思います。パリが「ヨーロッパ文化の要」であるように、全州も「アジア文化の要」になり得る都市です。アジア太平洋地域の観光を牽引するTPOと手を取り合い、全州を「アジア文化の中核」にしていく所存です。

**TPOにどのような活動を期待しますか？**

これからも会員都市の観光プラットフォーム構築を積極的に行い、アジア太平洋地域観光が活性化するよう、ご尽力いただければと思います。また、海外共同観光展参加や観光相談会の開催といった広報マーケティング事業、学生交換旅行事業、会員都市交流事業も持続的に行っていただきたいと願っています。





## 2017韓国会員都市地域会議が統営で開催

2017年度韓国会員都市地域会議が、15の韓国会員都市の実務者約30名とTPO事務局職員が参加する中、2月23日から24日まで統営国際音楽堂にて開催された。初日の本会議は、キム・ドンジン統営市長による歓迎の挨拶で幕を開けた。スピーチの中で、キム・ドンジン市長は、10月開催の第8回TPO総会に、多くの会員都市代表団が参加することを望んでいると述べた。次にシン・ヨンソン事務総長による2016年TPO活動報告と2017年度TPO活動計画の説明がなされた。本会議終了後は、参加者のための特別招請講演が開かれた。統営市観光マーケティング課のチョン・ヨンエ氏は、韓国政府が選定する「今年の観光都市」に統営が選ばれた経験をもとに「今年の観光都市施策」とのテーマで講演した。ソン・テヒョン漢陽大学観光学部名誉教授兼韓国スローシティ本部理事長は「主客間の相互作用に花を咲かせる:民官協力方案」とのテーマで講演し、参加者から大きな反響を得た。翌日、参加者は「観光資源開発」をテーマにした統営市観光資源視察をした。



## TPO事務局と統営市、第8回TPO総会開催広報活動を強化

統営市とTPO事務局が来る10月18日から21日まで韓国統営市で開かれる第8回TPO総会の成功のために、TPO事務局と統営市が活発な広報活動を行っている。去る3月に統営市のキム・サンヨン海洋観光局長とTPO事務局のチョ・ダルリョ企画総括部長一行が韓国の慶尚北道地域の会員都市をはじめとして5月には全羅北道地域の会員都市を表敬訪問し、総会関連の広報活動を行った。これとは別途で、統営市は去る5月6日開催された第24回海祭りの行事会場にTPO総会の広報ブースを設置し、総会関連の広報冊子およびTPO会員都市の観光地図や各種案内パンフレットなどを展示した。

また、キム・ドンジン統営市長とシン・ヨンソンTPO事務総長一行が去る6月20日から23日まで中国会員都市を訪問し、市長の総会参席を要請した。会長都市である広州市ワンドン副市長との面談でキム・ドンジン市長は今までTPO総会で扱った議題などを議論し、第8回総会が持つ意味と方向性を説明する契機とした。仏山市と韶関市でも総会のテーマである都市ブランドと観光に関連して似た特色がある都市をテーマ別にまとめて具体的かつ実質的な観光分野の交流協力を推進するという計画を説明した。統営市は音楽都市のブランドを活用して総会機関中音楽会を開催し、今後音楽を通して観光客相互誘致方案の議論の場を設けるという計画を説明した。

統営市は既存の都市会員には似たテーマを持っている都市間の実質的かつ具体的な交流方案に対するガイドラインを提示し、最近加入した会員都市には観光資源を広く知らせることができる広報機会を提供した。



## ベトナムのホーチミン市でTPO韓国会員都市を表敬訪問し、MOUを締結

ベトナムのホーチミン市人民委員長は約110名の大規模訪問団を率いて、5月15日から22日まで、韓国を訪問した。対外協力、通商貿易、観光など、ホーチミン市の10分野の局長級公式訪問団、経済使節団、公演団で構成された一行は、韓国の仁川、慶州、釜山を訪問し、都市間戦略産業、投資・通商・観光など、相互協力および交流増進について、さまざまな意見を交わした。ベトナムホーチミン市のウンエンタンブン(Nguyen Thanh Phong)人民委員長は、16日にユ・ジョンボク仁川市長を表敬訪問。両者は両都市間友好協力基本合意書を締結した。また、ホーチミン投資貿易振興公社は仁川経済産業情報テクノパークと相互経済交流の業務協約(MOU)を結んだ。今回、業務協約を結んだ両機関は、新規展示会を開き、格安・高効率展示産業支援、中小企業製品展示空間および現地でのバイヤー交流、定期的経済交流と人材交流などを推進していく計画だ。ホーチミン市訪問団一行は、5月19日と20日には慶州を訪問し、「ホーチミン-慶州世界文化エキスポ2017」基本合意書(MOU)を締結した。「ホーチミン-慶州世界文化エキスポ2017」は、「文化交流を通じてのアジア共栄」をテーマに、11月9日から12月3日まで、ホーチミン市で開催される予定。一方、ホーチミン-慶州・慶尚北道間MOUが締結された20日は、慶州世界文化エキスポ公園にて「2017ホーチミンの日in慶州」が開催された。今回のイベントは「ホーチミン-慶州世界文化エキスポ2017」のプレ縮小版というもの、ベトナムの伝統踊り・武術・音楽公演、伝統衣装アオザイ体験、伝統料理試食会など、盛りだくさんの見どころや楽しいイベントが提供された。ホーチミン市人民委員長一行は21日と22日、最後訪問地である釜山市を訪れた。訪問団は釜山・慶南、ベトナム名誉総領事館を訪問し、パク・スグァン名誉総領事と二都市間交流と協力増進について意見を交わした。パク・スグァン名誉総領事は、ウンエンタンブン人民委員長が慶南企業に関心、支援を寄せ、協力していることに感謝の意を述べるとともに、ホーチミンと釜山間の交通が未だ不備であることから、釜山・慶南の企業家たちがベトナムを訪問しづらい状態について、関心の目を向けてほしい旨を請じた。これについてウンエンタンブン委員長は、近年、ホーチミンの人口が急増しているが、都市インフラ構築が人口成長速度に追いついておらず、外国投資企業に不便をかけているが、今後は二都市間協力が活発になることを期待すると述べた。その後、パク・スグァン名誉総領事による歓迎晩餐会が開かれた。一行は、ペク・ジョンホン釜山市議会議長、チョンソングェ釜山商工会議所会長をはじめ、地域機関および団体長、企業家などと交流し、協力増進案について議論した。22日には、釜山の海雲台ウェスティン朝鮮ホテルでウンエンタンブンホーチミン人民委員長と釜山市ソ・ビョンス市長は「ベトナムホーチミン市と釜山市の都市鉄道建設事業協力基本合意書」を締結した。





## 2017安東国際仮面劇フェスティバル

安東 韓国 | 9月29日~10月8日

場所 仮面劇公園、文化通りなど安東市内一円

韓国精神文化の首都安東では、9月29日から10月8日まで「2017安東国際仮面劇フェスティバル」が開催される。文化体育観光部が4年連続「大韓民国を代表する祭り」に選定したフェスティバルだ。時代に翻弄されず、また宗教的偏向のない文化が伝わる安東は、韓国最多の文化財保有数を誇る地域で、東洋の美学を今に伝えている。仮面劇フェスティバルでは、国内外の仮面劇公演やマダン劇、競演大会、美術展、パレード、仮面劇体験、世界仮面展覧会など、約80の多彩なイベントが開催される予定。安東の文化を体感しながら、楽しめるような祭りになるだろう。



## 2017エコモビリティフェスティバル

高雄市 台湾 | 10月1~31日

場所 哈瑪星鉄道文化園区

2017年10月から1ヶ月間にわたり、高雄市政府と世界地方政府(CLD)が共同で「第3回2017エコモビリティフェスティバル」を開催する。本イベントではエコモビリティの世界大会、低炭素交通システム、環境教育展覧会、現地の学者による人文学講演などが行われる。期間中、車の通行が制限されるため、参加者は、公共交通機関、歩行、自転車など、環境に配慮した低炭素交通を使うことになる。詳細情報は公式ホームページ(<http://www.ecomobilityfestival2017.org/>)でご確認を。



## 源平 night in 赤間神宮

下関 日本 | 10月7・14・21・28日 20:00~21:20

場所 赤間神宮境内

秋の夜長の4日間限定で、赤間神宮境内をライトアップして上演する歴史エンターテインメントです。下関で起きたさまざまな出来事が次々とミュージカルで再現され、観客をいにしえの世界へと誘います。煌びやかな衣装で舞う日本舞踊や、下関に伝わる平家太鼓(へいけだいく)など、ここでしか見ることができない伝統芸能も必見です。

## “ワールドdidacアジア(Worlddidac Asia) 2017”

バンコク タイ | 10月10~12日

場所 タイバンコククイーン・シリキット・ナショナル・コンベンション・センター

ワールドdidacアジア2017は、新たなグローバルビジネスチャンスを創出するために開かれるアジアきっての教育資機材博覧会。世界有数のメーカーが一堂に会し、さま



ざまな新製品や新技術をアジア全域に向けて発表公開するとあって、参加者は、幅広い分野の教育用革新製品を見てまわることができる。本展覧会には、さまざまな教育機関や、サービス、ソリューションを提供する企業、機関、NGO、私立および公立学校の管理職、ディーラー、オピニオンリーダーなどが参加する予定だ。



## 農業週間

イルクーツク ロシア | 10月17~20日

場所 ロシアイルクーツクシブエキスポセンター

10月17日から20日まで4日間、ロシアのイルクーツク市にて農業週間イベントが開催される。農業と食品生産の成果が提示されるイベントで、1995年に初めて開催されて以来この22年間、食品メーカーの重要行事として位置づけられてきた。特にアンカラ地域の市民に最も愛されているイベントで、参加者も多い。第23回の今回は、収穫時期を終えた後とあって、イルクーツク地域の農林業と食品生産加工業者が一堂に会す大規模フェスティバルになる予定だ。



## 第5回上海観光、養老、不動産博覧会

上海 中国 | 10月20~22日

場所 上海エバーブライトコンベンションセンター

2017第5回上海観光、養老、不動産博覧会が、10月20日から22日まで、上海エバーブライトコンベンションセンター(Everbright Convention & Exhibition Center)にて開催される。有名不動産業者100ヶ所余りが参加し、12万平方メートルにもおよぶ会場内で、最高の観光、療養、不動産関連事業について紹介する。本博覧会は、今後、中国で知名度の高い観光、不動産事業マーケティング、広報のプラットフォームとしての役割を担っていくことが期待される。

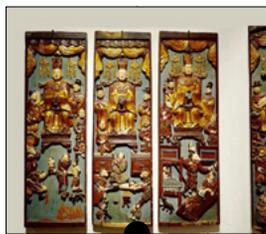


## クジラと共に楽しむ特別な旅

蔚山南区 韓国 | 10月28~29日

場所 長生浦クジラ文化村

蔚山南区は秋の旅行週間(10月21日から11月5日)に、長生浦クジラ文化特区一円で「クジラと共に楽しむ特別な旅」をテーマにしたさまざまなプログラムを開催する。旅行週間中は「無休のクジラ特区」を運営し、長生浦クジラ博物館と生態体験館入場料を30%オフにするほか、宿泊施設(ロッテホテル、ロッテシティホテル)、レストラン(万里の長城、シンセンウォン、ウォンガゲ、ゴビエヴァン)、公演(CKアートホール)などでも割引サービスを提供する予定。中でも、10月28日、29日の2日間は、クジラ文化村で特別イベントを開き、テーマ公演をはじめ、子どもの体験活動、現場イベントなども行う。



## 輝く-漆、メッキ木工芸コレクション 特別展示

ハノイベトナム | 6月20日~11月30日

場所 ベトナムハノイ国立歴史博物館

ベトナム国立歴史博物館では「輝く-漆、メッキ木工芸コレクション」を開催しており、黎王朝から阮朝までの時期に製作されたさまざまな彫刻作品や、ベトナム神話に出てくる神聖な動物を表した約100点の作品を展示している。これらの貴重な芸術作品が大衆に公開されるのは、今回が初めて。ベトナムの大多数の農業都市では木工業を付随的な産業としており、住宅、塔、彫刻、装飾品の建設や製作をしている。木工アーティストが生活と宗教的な意識から製作したベトナム伝統文化の神髄ともいえる芸術作品の公開期間は、6月20日から11月30日まで。



## 巨済島花祭り (Geoje Seom Kkot Festival)

巨済韓国 | 10月28日~11月5日

場所 巨済農業開発院

今年で12回目を迎える「巨済島花祭り」は、花、文化、人が交わる秋の花祭りだ。「市民が作る祭り」とのスローガンのもと、秋の花の饗宴、韓国農業ナビゲーション、市民と共につくる文化公演、各種競演、体験イベントの6分野約60種類のさまざまなプログラムが用意されている。巨済市で農業に携わる人や160の市民団体(2000人)が参加。また、毎年20万人の観覧客が訪れている。



## 第66回おはら祭り

かごしま日本 | 11月2~3日

場所 鹿児島市一帯

1949年から続く鹿児島を代表する祭りであり、南九州最大の秋祭り。今年は11月2日から3日までの2日間にわたって進行される。約2万5千人の踊り手が、鹿児島を代表する民謡「おはら節」などにあわせて、鹿児島の目抜き通りである天文館電車通りを練り踊る「総踊り」は圧巻。また、祭り期間中はさまざまな催しも開催される。踊りは誰でも自由に参加できるので、旅の思い出にぜひ参加しよう。



## マレーシア・アーバン・リトリート・ フェスティバル (MURFEST)

マレーシアクアラルンプール | 11月3~5日

場所 マレーシアクアラルンプールルメリディアン  
ブトラジャヤ

マレーシアアーバンリトリートフェスティバル(MURFEST)は、ウェルビーイング、音楽、踊りなどを融合させた個性のかつー風変わったフェスティバル。期間中3日間は、世界約80チームのミュージシャンやアーティストが一堂に会す。アジアの健康、ウェルビーイング産業のプラットホームともいえる本イベントは、心の健康を育むことを究極の目標に掲げ、マレーシアの若者や未来を担う世代、海外からの観光客の健康やウェルビーイングへの固定観念を変え、学生が興味を持つような教育を提供する。「マレーシアアーバンリトリートフェスティバル(MURFEST)」は、人種と宗教に関係なく、誰にでも開かれた行事だ。



## 中国(鄭州市)国際シニア産業博覧会

河南鄭州市 | 11月24~26日

場所 鄭州市国際会議センター

2010年にスタートした「中国(鄭州市)国際シニア産業博覧会」は、回を重ねるごとに充実度が増している博覧会だ。シニア旅行、健康食品、先端医療、スマートサービスなど、世界中のシニア産業の最新技術や製品、ソリューションなどを一か所に集め、トレンドをリリースする。第7回を迎える今回の中国(鄭州市)国際シニア産業博覧会は、流通チャンネルの変化や産業発展に焦点をあて、シニア産業の青写真を描く計画だ。



## 大阪マラソン 2017

大阪日本 | 11月26日

場所 大阪城公園

大阪マラソンは、約3万2000人の国内外ランナーが参加するマラソン大会。コースには、大阪のランドマーク的存在の大阪城、道頓堀川、御堂筋通りなどが入っている。この界限は流動人口が多く、毎年130万人もの観衆が沿道に集まりランナーを応援する。慈善イベントの一環から開催されるようになった大阪マラソンは、年々規模が大きくなり、さまざまなプログラムが繰り広げられる。期間中、大阪ではマラソンはもとより、能や狂言、歌舞伎、文楽などの伝統芸能公演も開催される。また、グルメやショッピングも楽しめる。



## 新羅文化祭

慶州 韓国 | 10月6日~12月3日

**場所** 芸術の殿堂、徐羅伐文化会館、仏国寺など慶州一円

慶州地域を代表する文化行事「新羅文化祭」が、10月6日から12月3日まで、芸術の殿堂、徐羅伐文化会館、仏国寺など、慶州一円で開催される。「新羅文化祭」は新羅のきらびやかな歴史と文化が体感できる歴史文化体験祭りであると同時に、伝統と現代が交わる文化観光都市慶州のビジョンが提示される場でもある。慶州市民の和合、千年文化遺産を持つ慶州の魅力、本祭りを通して、地域民や観光客に伝える計画だ。



## 2017 台南 関子嶺温泉グルメ祭り

台南 台湾 | 2017年10月~12月

**場所** 台南市関子嶺一帯

台南関子嶺温泉グルメ祭りでは、泥温泉、火玉爺巡行ナイト祭り、必ず食べたい地元の個性派グルメ、温泉入浴ガウン体験、イルミネーションなど、五感満足間違いなしの各種プログラムを体験することができる。関子嶺温泉エリアの特色を創造的に活用しながら、より多くの人々に関子嶺温泉旅行を知ってもらうことで、関子嶺地域の観光産業発展につなげたい考えだ。



## 2017小倉イルミネーション

北九州 日本 | 2017年11月上旬~2018年1月中旬

**場所** JR小倉駅及び紫川周辺

初冬から年末年始を経て1月中旬まで開催される「2017小倉イルミネーション」。今年で17回目を迎える本行事は、日本夜景遺産にも登録されている。世界遺産の映像を投影した映像トンネルや「実在する世界の美しい場所10」にも選ばれた河内藤園の藤棚をイメージした幻想的なイルミネーショントンネル、紫川の滝をイメージしたフォーリングイルミネーションなどが見もの。イルミネーションは、毎晩5時から10時まで一斉に点灯される。

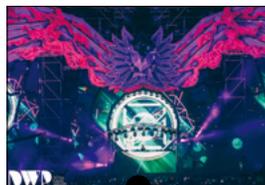


## 成都国際旅行博覧会

成都 中国 | 11月30日~12月2日

**場所** 成都世紀城新国際コンベンションセンター

成都国際旅行博覧会(CITE)は、中国西部で開催される大規模な旅行博覧会。成都旅遊局と展示局の多大な支援を受けている。旅行社と旅行愛好家をつなぐ巨大なプラットフォームであり、観光産業の盛大なお祭りでもある。信頼ある旅行経路やサービスが提供されるため、旅行愛好家は博覧会で優れた旅行商品の情報を得たり、旅行プランをたてたりすることができる。

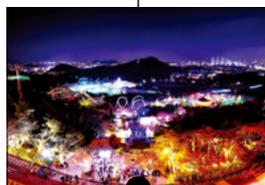


## ジャカルタ ウェアハウス プロジェクト 2017

ジャカルタ インドネシア | 12月15~16日

**場所** インドネシアジャカルタインターナショナル エキスポセンター

ジャカルタウェアハウスプロジェクトは、ジャカルタで開かれる大規模なエレクトロニックミュージックフェスティバルだ。ジャカルタインターナショナルエキスポセンターでは2日間にわたり、世界的なスーパースターたちによるグルーヴ感あふれる音楽の饗宴が繰り広げられる。マーティン・ギャリック、アクスウェル・ハイングロッツ、ニッキー・ロメロなど人気のDJがEDM、ハウス、テクノミュージックをメインにかけながら、会場の雰囲気盛り上げる。華やかな舞台演出や照明も繰り広げられるため、片時も目が離せない。



## イーワールド星の光祭り

大邱 韓国 | 11月19日~12月31日

**場所** 大邱イーワールド、83タワー一帯

2017年「イーワールド星の光祭り」のテーマは、10万本のLEDのバラ。また、830万個の星の光も瞬き、韓国最高の星祭りになるだろう。大邱を代表するテーマパークイーワールドと、慶北のランドマークである83タワーからは、美しい夜景が楽しめる。華やかな花火ショーや83種類の星の光フォトゾーン、異色体験なども堪能できる。



## 第9回釜山クリスマスツリー文化祭り

釜山中区 韓国 | 2017年12月2日~2018年1月7日

**場所** 光復中央路一円

釜山光復路で開催される第9回クリスマスツリー祭りのテーマは「世の中すべてに愛の光を」。国内外の観光客に素敵な思い出と希望のメッセージを贈る計画だ。華やかなライトアップで温もりを分かち合う祝祭の場となることだろう。

# TPO Members

81 city members, 40 industry members

## CITY MEMBERS

### CHINA

Chengdu Weihai  
Qingyuan Yantai  
Dalian Zhangjiajie  
Foshan Zhaoqing  
Guangzhou Zhengzhou  
Hangzhou Liupanshui  
Qingdao  
Sanya  
Shanghai  
Shaoguan  
Shenyang  
Suzhou  
Tianjin  
Urumqi

### CHINESE TAIPEI

Kaohsiung  
Taichung  
Tainan

### THAILAND

Bangkok

### VIETNAM

Danang  
Hai Phong  
Hanoi  
Ho Chi Minh

### MALAYSIA

Georgetown  
Ipoh  
Kota Bharu  
Kota Kinabalu  
Kuala Lumpur  
Melaka  
Taiping

### INDONESIA

Jakarta  
Surabaya  
Yogyakarta  
Bitung

### PHILIPPINES

Manila

### KOREA

Andong  
Busan  
Busan Haeundae-gu  
Busan Jung-gu  
Buyeo-gun  
Changwon  
Chuncheon  
Daegu  
Daegu Jung-gu  
Daejeon  
Donghae  
Gangneung  
Geoje  
Gimhae  
Goyang

### RUSSIA

Vladivostok  
Irkutsk

### JAPAN

Fukuoka  
Kagoshima  
Kitakyushu  
Kumamoto  
Miyazaki  
Osaka  
Shimonoseki  
Takeo

## INDUSTRY MEMBERS

**CHINA** Guangzhou Garden Hotel  
Guangzhou Star Cruises Co., Ltd.  
GZL International Travel Service Ltd.  
Shandong Channel International Travel Service Co., Ltd.  
China Travel international (Xinjiang) Ltd.  
China Comfort Xi'an International Travel Service Co., Ltd.  
Dalian Gulian International Travel Service  
CITS Guangdong  
China Travel Internantional Sanya Co., Ltd.  
Hainan Gaoli Holiday Travel Service Co.,Ltd

**JAPAN** Kagoshima Convention & Visitors Bureau  
Fukuoka Convention & Visitors Bureau  
JTB Corp. Fukuoka Office

**KOREA** BEXCO  
Busan Tourism Association  
Arum Travel Service Co., Ltd.  
Cheongsong Travel Service Co., Ltd.  
Road ABC Media Co., Ltd.  
TourJapan Co., Ltd.  
Intravel Ltd.  
Haeundae Centum Hotel  
Daegu Tourism Association  
Lee Convention  
Busan Tourism High School  
The Korea Academic Society of Tourism and Leisure  
Solar Travel Agency  
BS FunTour  
Benikea Jeonju Hansung Tourist Hotel  
Sky Tour  
JB Tour  
PANWORLD Dream  
Tour Fun Co., Ltd.  
Wolseong E&C

**MALAYSIA** Taiping Tourist Association

**MONGOLIA** Ancient Nomads Tour Agency

**RUSSIA** Gavan Tour-center Co. Ltd

**U.S.A** MCM Group Holdings Ltd.

**VIETNAM** Haiphong Vanhoa One Member Limited Corporation  
Haiphong Vocational College of Tourism

**KOREA** TourFun Co.,Ltd.

**INDIA** Abroader Consultancy India Pvt. Ltd.



**Tourism Promotion Organization  
for Asia Pacific Cities**

**TPO Contact Information**

**Address.** TPO Secretariat, 8th Floor of Kolong Building, No.480 Suyeong-ro, Suyeong-gu, Busan 48314,

**TEL.** +82-51-502-2984~7 **FAX.** +82-51-502-1968

**E-mail.** secretariat @ aptpo.org

**Web Site.** <http://www.aptpo.org>